



羅針盤

何でも短縮符号のように表現する時代では間延びの表現と言われるでしょうが、「弥生三月」この言葉だけでも早春から本格的な春になると感じて心が豊かな気持ちになります。温暖化と言われながらこの冬、特に二月は東京の日中最高気温が15度を超すのは月末28日だけで、19年ぶり と天気予報者が紹介していました。寒い冬、札幌ではJRが終日運休、新千歳空港では全便運休の日もでて、一時空港内に4000人の足止めもありました。その空港の除雪風景は東京では想像もつかないことです。この先は融雪災害が少ないことを祈ります。春は目の前ですが、コロナの「まん延防止等重点措置」は期間が延長されそうな気配。今年も桜は遠目で見ることになるのでしょうか。満開の桜花の下で思いっきり手足を伸ばして深呼吸したいものです。学校等の対応も気になります。オンライン中心の大学生活が「普通」となっており、友達作りにも苦勞している中、企業ではテレワークでも十分に業績を伸ばせる会社も多いようで、自分の好きな地へ転居し、仕事とプライベート生活が共生できると喜ぶ声がネットでも聞かれます。確実に生活形態が変化してきていますが、人の心の成長に、ネットが全ての生活が良いとは思えません。画面から、お相手の瞳の中に出ている微妙な心の中を覗き込むことが出来るでしょうか。若者に尋ねてみたい昨今です。

Market Forecasts by Y. san -3月-

2月予測の自己評価 鉄スクラップ:○ 銅:× アルミ:○

鉄スクラップ

指標となる東京製鉄宇都宮工場の2月の特級価格は53,000円/トンでスタートし、最終的には57,000円/トンまで上昇。中国の春需を見据えアジアの鉄鋼メーカーが価格を上げたため、国内の電炉メーカーも値上げを余儀なくされました。品薄により更に上げが予想されます。

銅

2月はLME9,600ドル/トン台、国内銅建値1,160,000円/トン台でスタート。欧米の株高を背景に最終的には9,900ドル/トン台、国内銅建値1,200,000円/トンまで上昇。3月はロシアによるウクライナ侵攻の影響により品薄状態が続く為の上がると思われま。

アルミ

2月のLMEは3,070ドル台/トンでスタート。最終的には3,350ドル台/トン突破し、一時は過去最高値となる3,519ドル/トンを記録。最終的には3,350ドル台/トンでした。ロシアの侵攻が続けば品薄が更に進み、3月は上がると思われま。

産業廃棄物

最近、不要になった化粧品を買い上げて絵具として実用化したり、不要になった漁網をおしゃれなカバンに生まれ変わらせたりするリサイクルが増え、非常に良いことです。ただ口先でリサイクル、リユース推進とか言うより具体的に「何が何になる」とする業者がこれから生き残るでしょう。

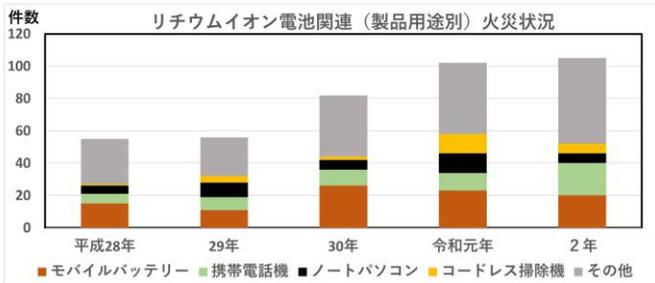
Topics

リチウムイオン電池由来の発火事故現状と課題

我々は今、民生用・産業用を問わず、生活の大部分を電池に頼って生活しています。電池の無い生活は考えられず、経済産業省では、2030年の温暖化効果ガス削減目標に関する会合の資料の中で、「蓄電池は現代社会のエネルギー貯蔵手段であり、2050カーボンニュートラル実現の鍵となる技術」と紹介しております。

様々な製品で電池が使用されていることは、様々な場面で電池由来の事故も発生することになります。電池による事故原因としては、製品に起因する事故が多いとされていますが、使用者の誤使用、不注意による事故も多いようです。事故の中でも火災にまで被害が大きくなるものとして、リチウム電池による発火事故が年々増加していることはニュースでも紹介されていますが、家庭から一般廃棄物として市町村が処分する、また業務用廃棄物として産廃処理業者が処分する場合とどちらにおいても、リチウムイオン電池の発火による重大な火災が発生しています。清掃車の中で発火、産廃処分場で廃棄物の中の電池が爆発発火する場合もあるようです。たかが電池、されど電池です。東京消防庁の広報資料「リチウム電池からの発火に注意しよう」でリチウムイオン電池関連（製品用途別）による火災の状況が下図のように紹介されています。

（詳細は、[東京消防庁<広報テーマ（2021年7月号）>](http://www.tokyo.lg.jp)（tokyo.lg.jp）を参照ください）



モバイルバッテリー、携帯電話、ノートパソコンの普及によると共に日常の必需品から廃棄されたものが原因となっていることが分かります。使用済みとなった電池をどのような注意をして廃棄するべきか、個々人の注意が求められています。東京消防庁「[火災を防ぐためには](#)」から注意の一部をご紹介します。

- 製品購入時：「PSEマーク」が付いている製品を選ぶ。付属されている充電器やメーカー指定の物を使用する。
- 使用時：膨張、異音、異臭などの異常が生じたら、使用はやめる。
- 廃棄時：市町村のごみ回収方法をよく確認し、可燃物ごみや不燃ごみなどに混ぜて廃棄するのは、絶対にやめる

Series

「私のゴルフ人生続編」



営業管理部 長谷川 武史

皆様ご無沙汰しております。以前、「私のゴルフ人生」をテーマにして寄稿させて頂きました長谷川武史と申します。お話を完結せぬまま中断期間が入ってしまい、今日に至っておりますので、今回から、また「私のゴルフ人生 続編」として、ゴルフへの想いを書かせていただきます。当時は営業での外回りが多く、沢山のお客様に変なお世話になりました。この場をお借りし改めて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。現在は営業管理部で業務に励んでおりますので今後ともよろしくお願いたします。

さて、私がプロゴルファーを志してから36年もの時が経ち、当時と現在のゴルフ界は全く様変わりしておりますので「私のゴルフ人生 続編」については、おとぎ話のような拙い話に感じる事も多々ありますが気が晴らしに一読頂ければ幸いです。

まずは研修生について改めて説明をさせて頂きます。研修生はゴルフ経験の有無にかかわらず、プロゴルファーになりたいという強い気持ちを持っていれば誰でもなる事（チャレンジ）は可能です。参考までにこれからプロゴルファーを目指したいと思っいる方がいましたら、自身の経験からアドバイス出来る事が2つあります。1つ目は練習環境が整っているゴルフ場を選択する事、2つ目にゴルフ場所所属の専属プロが在籍しているゴルフ場を選択する事です。技術向上のためにはこの2つは必須条件です。話に戻りますが、色々な方から「研修生は好きなだけラウンドや練習が出来ていいね」などと言われることがありますが現実にはそう甘くは有りません。私が所属していたゴルフ場での一日は、朝6時～8時：コース管理業務（全ホールバンカー均し整備）、orグリーン刈込）から始まり、朝食後、8時半～9時半：ポーター業務（玄関にてお客様の出迎え）、9時半～15時半までキャディー業務を行い16時頃かやつと解放されそこから急いでキャディーバッグを担ぎ、駆け足で日没までラウンドを行うといった感じでした。

練習の話をするすと、まざラウンド（コースを回ることも）ですが、季節によって異なります。夏場は駆け足で1ラウンド（18ホール）、春秋はハーフ（9ホール）、冬場に至っては2～3ホール回るのが精一杯といった状況です。ラウンド以外の練習は早朝の業務前に5時～6時までの1時間バターとアプローチの練習を行います。夏場以外は日の出が遅いため早朝5時は真っ暗闇の中、懐中電灯の光を頼りに練習を行うことが常でした。日没後はショット中心の練習をコース内の練習場で行います。コース内の練習場は20時に消灯となるため、その後は行きつけの練習場で、営業終了後に球拾いをする条件付きで無料で22時迄ひたすら打込みました。そして球拾いを終え寮に戻るのが23時半といった具合で一日が終了します。苦勞は次回も続きます。